



日本舞踊  
花柳 徳保さん

# 受賞者のプロフィール

五十四年度釧路新郷土芸術賞の受賞者が決まった。郷土の芸術振興のため積極的な発表活動と、後進の育成につとめ、芸術の深奥に迫ろうとしている人たちで、日本舞踊のあくなき探求と舞台

「思いがけないお知らせでー」のお弟子さんの養成、また自己の顔をほころばす花柳徳保さん。過日、三日の市民文化会館のこけら落しに引き続き、四日の日本舞踊大会に出演し、緊張づくめの日々

## 光るリーダーシップ

### 大同団結し本格舞台披露

本衣装の大作ばかり。この推進力となった徳保さんの力は大きい。「何よりもみごとな桜舞台を踏めた喜びにこえた会員の情熱応援してくれたお客。ありがたいことです」と他都市では見られない会員の

からようやく解放されたような表情だ。七歳のときから日本舞踊に親しみ、庁立釧路高女卒業後上京し、花柳徳太郎の門下に入る。徳保の名を許されたのが二十三歳、その後、自宅のけい古場で数多く

の団結の固いことを物語る。「これからはますます皆さんの期待に添えるよう努力します。今回の受賞は私一人のためではありません」とひそかな覚悟を語ったが、その人柄を釧路ユネスコ会長の丹葉節郎氏は「典型的な日本女性の美しさ、優しさ、聡明さ謙虚な人柄をそなえている」と称賛する。

た、二十七年には釧路邦楽邦舞協会を結成し、邦楽と邦舞が一致協カして日本の古典芸能の舞台活動

また、市内の料亭の老舗、八浪社長夫人として多忙な毎日のなか後進の指導にもつとめている。五十五歳。釧路市南大通七一二。

にとつとめた。これが五十一年の番叟に始まった舞台は、昼夜とも